

## No. 2996 『パロンズ誌の新春座談会(3) バフェットも注目したメルル・ウィットマー』

足立眞一

パロンズ誌の新春座談会の第3弾を紹介したい。

座談会の記事を読みながら私にとっては新発見があった。今週、取り上げたメルル・ウィットマーのことだ。常連メンバーで地味な存在で運用はロング・オンリー(買い)でオーソドックスだが、その推奨株の打率はダン突の成果を上げてきた。メディアにもパロンズ誌を除けばほとんど名前が出ない。しかも座談会の10人のなかではいちばん口数は少ない。マクロ論議になっても議論には参加しない。現在はイーグル・キャピタルのジェネラル・パートナーズで経営陣の一角を占める。

昨年、ウォーレン・バフェットが経営するパークシャー・ハザウェイの社外重役に選任された。どのような事情からバフェットと関わり合いを持つようになったかはわからない。昨年はスペクトラム・ブランド・ホールディングス(SPB/+48.70%)、シカゴ・ブリッジ&アイアン(CBI/+76.5%)、トリビューン・カンパニー(TRBAA/+57.2%)と3銘柄(カッコ内の数字は上昇率)とも抜群の成果で成功率は100%。さて今年の注目株は。

われわれもウィットマーパロンズ誌の座談会での発言と、その推奨銘柄の成果が優れているのには注目してきたが、昨年、パークシャー・ハザウェイの正式な重役になったことは知らなかった。昨年の推奨銘柄は下記の3銘柄であった。

メルル・ウィットマーの推奨株(2013年)の成果

	推奨時点の株価	昨年末	上昇率	運用成果
スペクトラム・ブランド・ホールディングス(SPB)	\$48.11	\$70.55	+46.6%	+48.7%
シカゴ・ブリッジ&アイアン(CBI)	\$47.22	\$83.14	+76.1%	+76.5%
トリビューン・カンパニー(TRBAA)	\$49.25	\$77.4	\$57.2	+57.2%

このなかのシカゴ・ブリッジ&アイア(CBI)はバフェットが筆頭の大株主だ。メルル・ウィットマーの推奨がきっかけになったのではない。

それより2012年半ばの年央の座談会ではフィリップス66(PSX)を勧めた。コノコ・フィリップスが精製、化学、流通部門を分離して公開した企業だが、バフェットも投資をして第2位の大株主になった。ウィットマーが推奨した時は\$31.53であったが、最近は高値が\$79になった。

さて今年の注目株は次の4銘柄である。

メルル・ウィットマーの推奨株(2014年)

ウィンダム・ワールドワイド(WYN)	\$72.97
スペクトラム・ブランド・ホールディングス(SPB)	\$69.8
エスターリン・テクノロジーズ(ESL)	\$101.67
コンステリウム(CSTM)	\$22.98

差当たり注目したいのはコンステリウム(CSTM)である。2013年にIPO(新規公開)した本拠地がオランダの企業である。公開価格は\$15であったが、その後は\$14まで下落し公開当時は人気がなかった。しかし、その後には株価は底入れして着実に下値切り上げのパターンに入ってきた。

## No. 2997 『パロンズ誌の新春座談会(3) パフェットも注目したメリル・ウィットマー』

足立真一

ビジネスはアルミを素材にした高付加価値製品のメーカーである。これまでは航空機向け、食品向けのアルミ製品などが中心で、新しいアルミ製品の用途の拡大に力をいれてきた。特に現在、注目されるのは航空機用の素材と自動車体向けである。航空機はエアバス、ボーイングに納入して共同開発を行ってきた。

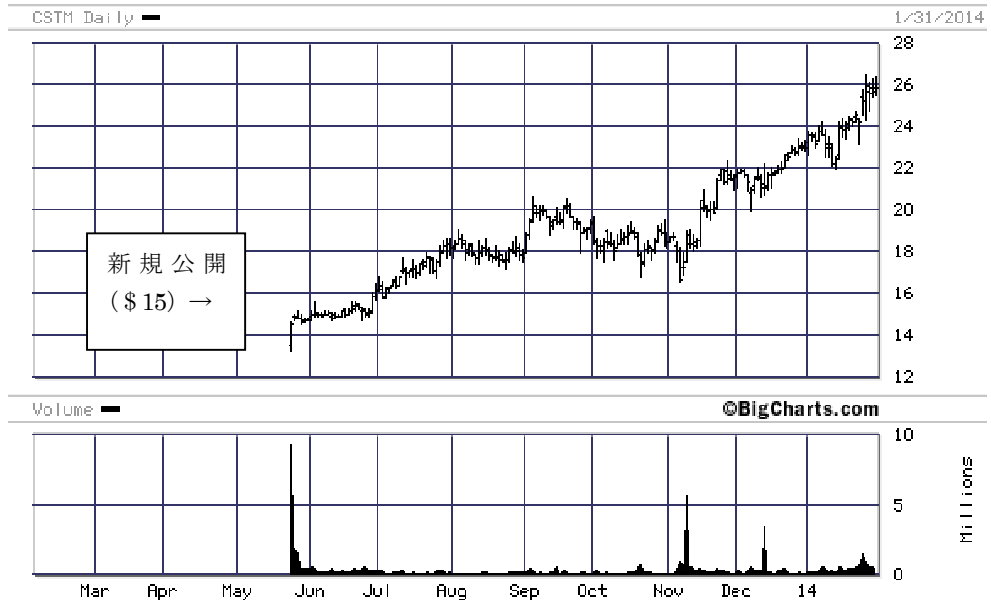
また自動車の車体のアルミ化は軽量化につながり省エネの手段でもある。コンステリウムは高付加価値製品を供給することになる。航空機向けにアルミ製品を供給しているのは世界で 2 社だけで重要な供給者である。エアバスとは 10 年間の長期契約を結んだ。

また自動車はフォードがアルミ化を進め 1 台当たりの重量ベースでは現在の 5% から 20% に増やす。これにより 1 ガロンのガソリンで現在の 23 マイルから 30 マイルに走行距離が延びる。米国内での自動車向けで使用量が 2015 年までに年 45 万トンになり 2020 年には同 100 万トンになると会社ではみている。

フォードは年初に新型フォード 150 を発表し軽量化と燃費効率化を図るためアルミ使用量の増加を決め手にした。

また先週、コンステリウムは日本の UACJ(5741) と米国で合併会社を設立し自動車の車体向け製品の工場を建設すると発表した。UACJ にも注目したい。

### コンステリウム (CSTM)



そのほかではウインダム(WYN)が入っているが、ヘッジファンドのブルー・ブリッジが注力しており、東京市場でのリゾート・トラスト(4681)と同じビジネスモデルの企業である。会員制のリゾート地でのホテル経営である。

これまでのウィットマーの銘柄の選択がパフェットの目にとまった。投資分析は材料などよりも、あくまでファンダメンタル分析を貫き資金運用をして成功してきた。